

テサロニケ

第一

③

主なる神との ホットライン

テサロニケ人への手紙第一 3章 信仰者の苦難と慰め

アウトライン

0. イントロダクション

I. テモテの派遣 1～5節

II. 同労者の信仰による慰め 7～13節

III. まとめと適用

主なる神との

ホットラインを構築しよう



ギリシャの沿岸

テサロニケへの手紙第一とは？

■ 著者 …使徒パウロ(書記テモテ)

■ 宛先 …テサロニケ教会

■ 執筆時期・場所

…コリント(最初の滞在中)

■ おもな目的 …教え切れなかった
終末論の補講



テサロニケへの教会とは？

- ギリシャ神話の神が名の由来
- マケドニア州の要衝の町
ユダヤ人の会堂もあった
- 第二次宣教旅行でパウロが伝道。
教会が誕生。➡異邦人が中心。
- 貧しくも信仰熱心
マケドニア州にある教会の核に



テサロニケでの伝道の顛末

- パウロ、シラス(テモテモ)で訪問
- 会堂で安息日に3回、福音を告げる
神を畏れる異邦人や有力な婦人たちが信じる
- ユダヤ人による暴動、ヤソンの家を襲撃
- パウロとシラスは、ベレアへ。
ベレアのユダヤ人は受け入れるが、
テサロニケから来たユダヤ人が妨害。
➡パウロはアテネへ逃れた



テサロニケの古い家の門



I. テモテの派遣 1～5節

報告 テモテの派遣 | テサ3:1~2

そこで、私たちはもはや**耐えきれなくなり***、私たちだけがアテネに残ることにして、私たちの兄弟であり、キリストの福音を伝える神の同労者であるテモテを遣わしたのです。

＊テサロニケに行けないことに!!

➡テサロニケ再訪は、何度も妨害。

■パウロは、滞在していたアテネから、テサロニケへ、テモテを派遣。



アテネ

報告 苦難の定め | テサ3:2~3

あなたがたを信仰において強め励まし、このような苦難の中にあっても、だれも動揺することがないようにするためでした。あなたがた自身が知っているとおり、私たちがこのような苦難にあうように定められている*のです。

*信仰者の苦難は、主が定めたこと

■ 苦難の中にいる兄弟姉妹を
励まし、慰めるのが信仰者の責務



報告 実現した迫害 | テサ3:4

あなたがたのところにいたとき、私たちは前もって、苦難にあうようになると言っておいたのですが、あなたがたが知っているとおおり*、それは事実となりました。

*テサロニケで、律法主義者のユダヤ人による迫害が起こった。

■ 迫害が起こる前から、苦難を予告!!



報告 誘惑する者 | テサ3:5

そういうわけで*、私ももはや耐えられなくなって、あなたがたの信仰の様子を知るために、テモテを遣わしたのです。それは、誘惑する者*があなたがたを誘惑して、私たちの労苦が無駄にならないようにするためでした。

*兄弟姉妹の迫害と別離に耐えられず

*“悪魔・サタン”

■何より、偽の教えによる揺さぶりから、テサロニケ教会を守るために!!





Ⅱ. 同労者の信仰による慰め

6～13節

ローマの街道

報告 良い知らせ | テサ3:6

ところが今、テモテがあなたがたのところから私たちのもとに帰って来て、あなたがたの**信仰と愛***について良い知らせを伝えてくれました。また、あなたがたが私たちのことを、いつも**好意***をもって思い起こし、私たちがあなたがたに会いたいと思っているように、あなたがたも私たちに会いたがっていることを知らせてくれました。

■ テモテの報告から、テサロニケの人々の**信仰と愛***、**好意***が確認された。



報告 信仰による慰め | テサ3:7~8

こういうわけで、兄弟たち。私たちはあらゆる苦悩と苦難のうちにありながら、あなたがたのことでは慰めを受けました。あなたがたの信仰による慰め*です。

あなたがたが主にあって堅く立っているなら、今、私たちの心は生き返るからです。

*保たれていた、テサロニケの信仰。

➡パウロの何よりの慰めに!!



報告 感謝と喜び | テサ3:9

あなたがたのことで、どれほどの感謝を神におささげできるでしょうか*。神の御前であなたがたのことを喜んでいる、そのすべての喜びのゆえに。

*喜びと感謝こそ、主に私たちが献げられ、主が喜んでくださる最たるもの



報告 不足しているもの | テサ3:10

私たちは、あなたがたの顔を見て、あなたがたの信仰で不足しているもの*を補うことができるようにと、夜昼、熱心に祈っています。

*終末論(主の日)、特に携拳のこと(5章)



報告 再訪を祈る | テサ3:11

どうか、私たちの父である神*ご自身と、
私たちの主イエス*が、私たちの道を開いて、
あなたがたのところに行かせてくださいますように。

*内には聖霊なる神が!!

■道を開いてくださるのは、主ご自身



報告 主の愛の証人 | テサ3:12

私たちがあなたがたを愛しているように、
あなたがたの互いに対する愛を、またす
べての人に対する愛を、主が豊かにし、
あふれさせてくださいますように。

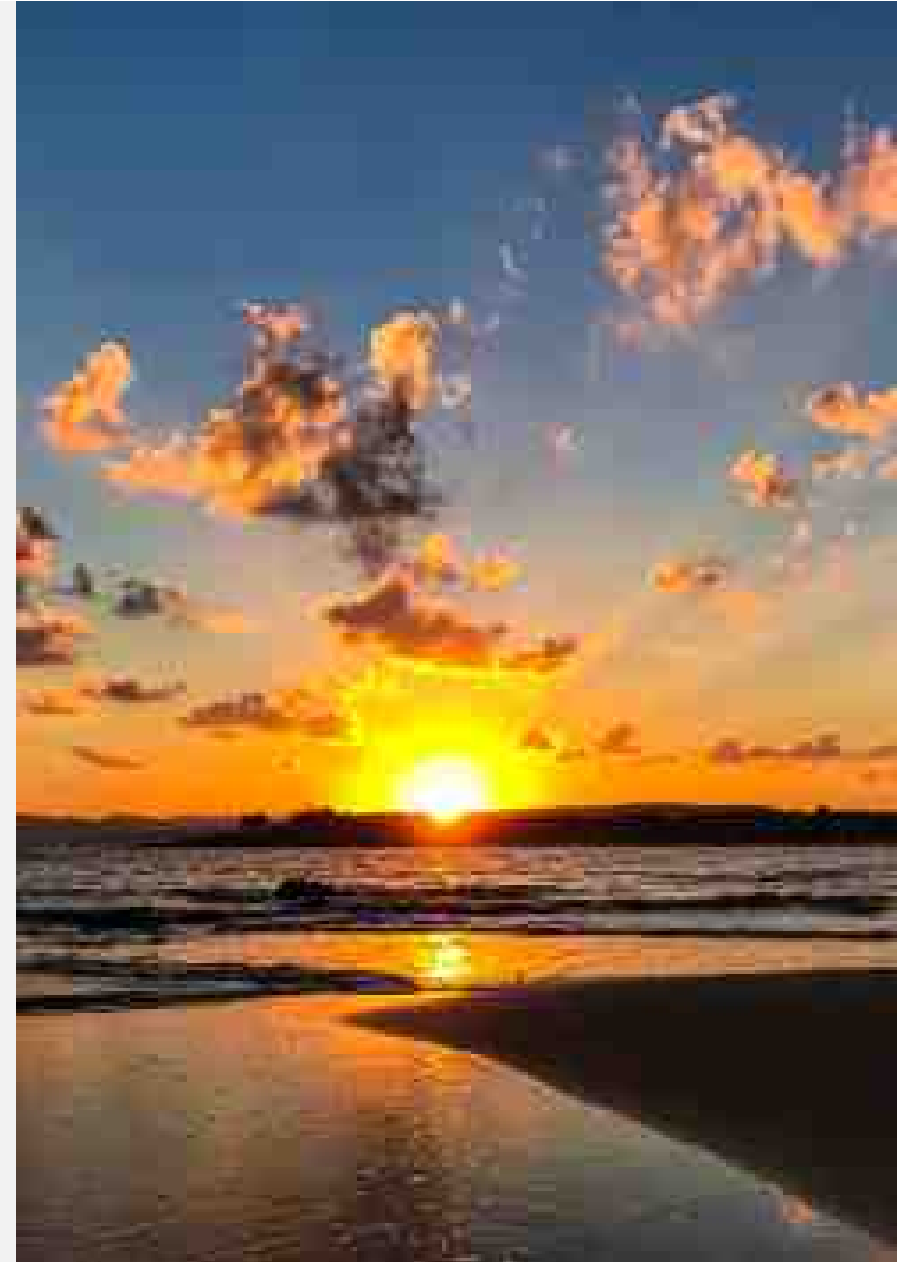
- 教会の兄弟姉妹で互いに愛し合い、
他者に愛を注ぎ、
この主の愛によって、主を証しする。



報告 再臨待望 | テサ3:13

そして、あなたがたの心を強めて、私たちの主イエスがご自分のすべての聖徒たちとともに来られるときに*、私たちの父である神の御前で、聖であり、責められるところのない者としてくださいますように。アーメン。

■再臨のメシア待望*こそ、パウロが、この祈りで託した希望の中心。





IV. まとめと適用 主なる神とのホットラインを構築しよう

ローマの街道

テサロニケ出身の同労者たち

① アリスタルコ

- …第三次宣教旅行の途中からパウロと同行(使徒20:4)。
エペソでは騒動の渦中に(使徒19:29)。
パウロと共に獄中に(コロ4:10)。パウロの同労者(ピレ1:24)
ローマへ移送されるパウロに同行(使徒27:2)。

② セクンド …第三次宣教旅行でパウロと同行(使徒20:4)

③ デマス …エペソで同行、パウロの同労者(コロ4:14、ピレ1:24)。 今の世を愛しテサロニケに戻る。

テサロニケ教会の奉仕

- エルサレムの聖徒たちのために喜んで献金した(ロマ15:26)。
→ 物的なもので、ユダヤ人信者に奉仕。
- コリント伝道を資金援助(Ⅱコリ11:9)
- ギリシャのすべての信者の模範(Ⅰテサ1:7)
ギリシャ全域と外にも、主を証しし、福音を伝えた(Ⅰテサ1:8)
マケドニア全土の兄弟姉妹に愛を実行(Ⅰテサ4:10)

テサロニケ教会の信仰ゆえの試練

■伝道された当初から、愛と奉仕を惜しまなかったテサロニケ教会。

…喜んで福音を受け入れ、パウロたちを手厚くもてなした。

…誕生間もなく、苦難も続く中、コリント伝道を援助

…何人もの兄弟を福音宣教のために派遣

➔主に忠実に従ったからこそこの迫害・苦難

➔苦難の中で、兄弟姉妹を愛し、主を証しし続ける姿が、パウロたち、同労者をも慰めた。

信仰者に与えられた幸いの極み

■主イエスの山上の説教・幸い章句の締め

【マタイ福音書5:11~12】

わたしのために人々があなたがたをののしり、迫害し、ありもしないことで悪口を浴びせるとき、あなたがたは幸いです。

喜びなさい。大いに喜びなさい。天においてあなたがたの報いは大きいのですから。あなたがたより前にいた預言者たちを、人々は同じように迫害したのです。

★ 主と直結した信仰をこそ育もう ★

- 誰かをおっかけるだけ、他者からもらうだけの依存的な人は、人を通して、間接的にしか、主につながっていない。
 - ➔ 主に直結していないので、たやすく揺れ動く
- 地域教会、普遍的教会へ奉仕し、兄弟姉妹に愛を注ぎ、誰でもない自分自身が、福音宣教の使命に遣わされて行く。
 - ➔ 主の使命に仕える者は、主と直接つながられていく。
 - ➔ 聖化の道を歩み続けること自体が、同労者への慰めともなる。

主イエスとのホットラインでつながれよう!!

てん とう
「天のお父さま。わたしは、あなたに背き、^{そむ}罪を^{つみ}重ねてきました。
ひび おか つみ こくはく つみ
日々犯してしまう罪をも告白します。この罪をゆるしてください。

わたしは、^{かみ}神のみ子^こイエス・キリストが、
つみ あがな じゅうじか し

①わたしの罪を贖うために十字架で死に、

はか ほうむ

②墓に葬られ、

みっかめ ふっかつ

③三日目に復活した^{しん}こと、を信じます。

わたし みからだ きょうかい いちぶ
私は、キリストの御体なる教会の一部とされました。

しゅ きょうだいしまい あい つか
主の兄弟姉妹と、よろこびもって、愛しあい、仕えあいます。

しゅ めぐ とお くだ もち
主の恵みの、よき通り管として用いてください。

くなん なか しゅ さいわ み だ
苦難の中でも、主による幸いを、見い出していくことができますように。

しゅ な いの
主イエス・キリストのみ名によって祈ります。 アーメン」